

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 薬草の里づくりプロジェクト推進事業費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

農政部 農産園芸課 野菜果樹特産係 電話番号：058-272-1111(内4120)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,917 千円（現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,917	766	0	0	0	0	0	0	1,151
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・岐阜県には、多様性に富む植物が分布する伊吹山があり、多くの種類の薬草が自生している。また、薬草とそれを利用してきた薬草文化は、伊吹山の豊富な薬草とともに本県の貴重な財産である。
- ・伊吹山麓にある春日を中心とした揖斐地域では、平成2年に町が中心となり、伊吹山薬草サミットを始め、毎年、伊吹山山麓の市町村の持ち回りで、平成25年まで開催された。それに伴い、薬草文化が活発化し、薬草文化の普及に大きな貢献を果たした。
- ・その後、10年が経過し、薬草を栽培、活用する人々の高齢化が進み、薬草に対する地域の意欲も減退してきていることから、薬草の活用方法や料理法などに携わる薬草文化の伝承が危ぶまれている。

（2）事業内容

伊吹山麓をはじめとした中山間地域の薬草文化を継承するため、薬草の里プロジェクトを展開し、薬草栽培の拡大・振興及び薬草文化の情報発信を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の4つの基本方針のうち、「安心できる農畜水産業と農村の環境整備」を推進するため、県が負担することが妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	26	・プロジェクト事業推進に係る報償費
旅費	71	・プロジェクト事業推進に係る業務旅費
需用費	228	・プロジェクト事業推進に係る消耗品費
役員費	50	・プロジェクト事業推進に係る通信運搬費
使用料及び賃借料	52	・プロジェクト活動の実施に係る経費
委託料	1,490	・プロジェクト活動の実施に係る経費
合計	1,917	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」
4つの基本方針のうち、「安心できる農畜水産業と農村の環境整備」に沿った具体的な取組み。

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

令和6年度から令和8年度まで継続的に取組を行うことで、地域の薬草文化を継承するための体制整備ができる見込であることから、後年度の財政負担は無し。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

伊吹山麓に根付く薬草栽培の実証を行い、薬草栽培のマニュアルとし作成することで、新たな担い手への継承を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① 薬草メニュー の提供店舗数	2	2	5	5	5	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	揖斐地域にて薬草プロジェクト事業を展開し、薬草フォーラムや魅力めぐりツアー、薬草メニューフェアを開催し、揖斐の薬草及び薬草文化の魅力を発信した。薬草メニューフェアでは12店舗が薬草メニューを提供したが、料理の材料となる薬草が常時供給できないため、定着には至らなかった。 指標① 目標：5 実績：2 達成率：0%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	中山間地域では、高齢化が進み、薬草などその地域資源を活かした地域の活性化がますます求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	本事業により薬草栽培の拡大・振興及び情報発信などを行うことで、薬草文化の伝承に寄与している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	市町や事業者、県関係機関と連携し、効率的に事業を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 地域で取り組む担い手を確保すること

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の薬草文化の伝承に向け、関係機関の連携体制を整備する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	